

県民ひろば

2025年1月1日

No. 71

発行／県民クラブ
連絡先／大分県議会
大分市大手町 ☎(097)536-1111(代)

https://
kenmin-club.com/



人口減少を見据えた地方創生を

県民クラブ 若山 雅敏(宇佐市)



国は、人口減少を乗り越え、持続可能な社会の形成を目指す地方

創生を加速させるとし、その取組が本格的に始まり10年の節目を迎えています。しかしながら、人口減少は、想定を上回るスピードで進み、令和4年以降は、東京都を除くすべての道府県で前年比マイナスとなるなど、歯止めがかかっていません。

国は地方創生の予算を増やし取組を進めると言いますが、今の国主導や県・市町村単位で人口の取り合いの政策を進めるのではなく、地方に主体性を持たせた自由な政策により、地域の住民一人一人に目を向け、安心して住み続けられる地域を守る地方創生の政策こそが大切だと考えます。

県の取り組み総合戦略が、域内交通の整備・充実、農漁業・エネルギーの地域(県)内での自給自足、若者の定住(Uターン含む)・地域での介護等の高齢者の安心に結び付くなど、地域課題の解消を目的にした地方創生となるべきだと考えます。

これからも、多くの課題解決に向けた意見や活動を県民クラブ会派で続けながら、県民一人ひとりに光があたり、誰もが安心して暮らして続けられる社会の実現に力を注ぎ、皆さまが幸せを感じていただける2025年にしていきたいと思えます。

人口減少に抗うことも重要であり、これまでの取組を否定するものではありません。しかし、10年間の取組の検証を踏まえると、私は、今後の取組は、「人口減少が進んでいく」ことを前提として、そ

本県においても、平成27年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し取り組んできました。しかし、この間も全体的に若年層を中心に減少が続いており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2035年には百万人を割り込む見通しとされています。このため、今後、より強力な対策を講じるべく新たな総合戦略とその前提となる人口ビジョンの改定作業を行っているとし、12月定例会において概要が報告されましたが、非常に重要なことと捉え県民クラブとして執行部との意見交換も行いました。